

2016年度終了 重点領域研究(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等 ※課題名をクリックすると該当する研究課題の研究成果報告書のページへジャンプします。
COC推進機構	准教授	山口博史	2014年豪雪の地域的影響に関する量的調査研究(アンケート調査)【研究期間:2016年度】
情報センター	准教授	日向良和	地域情報の発信例としてのウィキペディアタウン都留【研究期間:2016年度】

平成28年度 学術研究費等交付金 研究成果報告書

平成 29年 8月 31日

研究者	氏名： 山口博史	職位：准教授	
	所属(学科等)： COC 推進機構		
研究課題名	2014年豪雪の地域的影響にかんする量的調査研究（アンケート調査）		
研究年度	平成28年度から		平成28年度まで
研究費の種類	重点領域研究費	交付額	375,392円
研究費の種類		交付額	円
研究概要等			
【研究概要】 <ul style="list-style-type: none">・前期から調査票の検討に入り、パイロット版を何バージョンか作成した。・調査票について意見を聞き、内容、答えやすさなどの観点から改善を加えた。・学術調査を行なう旨、都留市民に連絡を行なった。・住民基本台帳からサンプリングを行なうため、市役所の担当課に調査内容の説明を行ない、申請を経てサンプリングを行なった（809名）。・調査票最終版にもとづいて調査票の印刷を行なった。・対象者に調査票を発送し、順次返送される回答を収受した。・転居等で8名分が不達となった。返送された回答をくわしく検討し、明らかな無効票をチェックした結果、最終的な回収は412票であった（回収率51.4%）。近年の郵送調査としては高めの回収率である。・返送された調査票のデータをコンピュータに入力し、統計的な分析を行なっている。			
【論文執筆等】 <p>平成29年度以降、分析にもとづいて論文執筆等を行なっていく予定である。平成29年度8月末までの実績は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none">・山口博史, 2017（予定）, 「2014年2月豪雪と住民の被害経験：都留市民への量的調査の結果から」, 都留文科大学研究紀要86号に掲載予定			

ここをクリックすると、一覧に戻ります！

平成28年度 学術研究費等交付金 研究成果報告書

平成29年2月24日

研究者	氏名：日向良和		職位：准教授
	所属(学科等)：情報センター		
研究課題名	地域情報の発信例としてのウィキペディアタウン都留		
研究年度	平成28	年度 から	平成28 年度まで
研究費の種類	重点領域研究（地域貢献）	交付額	664,200 円
研究費の種類		交付額	円
研究概要等			
<p>【研究概要】</p> <p>「ウィキペディアタウン」は地域内の特色ある場所へのまち歩きと、図書館等における文献調査およびウィキペディア記事の編集を組み合わせ、地域の情報を文献にのっとり、Wikipedia を通じて発信することができるイベントである。近年全国的におこなわれており、図書館、博物館を中心に注目されているイベントである。</p> <p>ウィキペディアタウンでは、単なるまち歩きだけでなく、成果物としてウィキペディア記事が公開されることにより、参加者は①地域情報の再発見、②図書館などでの文献調査による知識・スキル獲得、③地域情報発信に一役買うという満足感の3つの効果がある。また、地域においても、インターネット上で最も利用の多いサービスの一つであるウィキペディアで情報発信をすることができ、観光などへの応用が期待されている。従来から地図を手にしたまち歩きはおこなわれてきたが、参加者が発信を体験できるところが、これまでのまち歩きと違うところである。</p> <p>さらに、本研究では、博物館学芸員科目の「博物館情報メディア論」と組み合わせている。博物館情報メディア論は博物館サービスにおける ICT 活用について講義をする科目である。ウィキペディアタウンは地域情報の発掘と ICT による発信を利用者参加型で体験することができるイベントであるため、博物館情報メディア論の講義目標に合致するイベントである。学生たちはウィキペディアタウンを体験する中で、地方の博物館における ICT を活用したイベントとしてそのスキルなどを獲得することができた。</p> <p>【学会発表、書籍収録等】</p> <p>11月8日～10日 パシフィコ横浜 第18回図書館総合展 ブース展示 3月5日 京都府立図書館 ウィキペディアタウンサミット 2017にて発表</p>			

[ここをクリックすると、一覧に戻ります！](#)